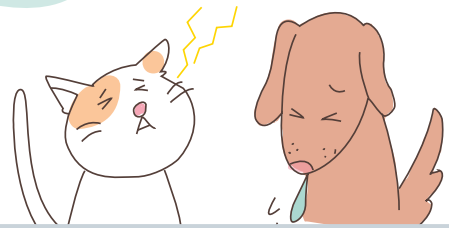


鼻水が止まらない。咳が長く続く。 これ、“たばこ煙”への過敏反応かも。

「慢性鼻炎」や「慢性気管支炎」と診断され、呼吸がいつもより苦しいようなら、今の生活の質を変えてみるのも一考です。旅行に出かけたり、もちろん当社の酸素ハウスに閉じ籠もったりするのもあり。でも・・・それより、この機会に禁煙を考えてみたら！



「ペットと暮らして、家族みんなで健康に！」

“たばこ煙”が原因で鼻炎や喘息、肺炎に、さらには命に関わる重症な心臓病や肺癌の引き金になることはよく知られています。そして、これは喫煙者の家族にも。大人の喫煙嗜好により、“たばこ煙”の暴露、話題の「受動喫煙」を許す環境が、子どもたちの健康を害することも知られています。また最近では、喫煙後に服やカーテン、壁紙に付着した“たばこ煙”の成分がジワジワとそこで生活するものの健康を脅かすこと、三次「受動喫煙」により被る影響もわかってきました。子どもたちは学校があるので、外へ出かけます。でも、もう一つの小さな家族、動物たちは家の中で・・・。

国内で伴侶動物（ペット）の受動喫煙に関する研究者のひとり、日本大学獣医麻酔・呼吸器学研究室の山谷吉樹教授によると、「動物を飼うことと同時に喫煙をしてしまう理由は癒しを得たいという気持ち、またはストレス解消という現代人の疲れた心に関係しているものと理解できますが、それでも子どもやペットの健康を守るため、呼吸器疾患をもつような脆弱者（喘息のような呼吸器病をもった子どもやペット）の増悪を防ぐため、自宅での屋内外喫煙は絶対にやめていただきたい」と厳しく戒めておられます。

同じ病気になっても動物は人間同様の診断や治療が出来ないケースも多く、日常的により一層の予防策が求められます。どうか動物と共に暮らすご家庭での喫煙は絶対になくしてください。

獣医師の諸先生に

アメリカ獣医師会 AVMA の WEB サイトに、パブリックコメントの記載があります。ご参照ください。
(<https://www.avma.org/public/PetCare/Pages/Stop-smoking-for-your-pets-health.aspx>)



猫にアロマは危険!?



猫がいる部屋ではアロマをたかない方が安全です。

それはアロマオイルが、どのように猫に毒性があるのか分かっていないからです。獣医師として毒性がわかってない以上、たいとも大丈夫とは言えません。

精油(エッセンシャルオイル)を舐めた、または皮膚に滴下した猫が死亡した例や、毎日アロマを炊いた部屋と一緒に住んでいた猫が血液検査で肝臓の値が高かった例が報告されています。なぜ、アロマセラピーが猫の体に合わないのでしょうか。

アロマにも様々な種類がありますが、アロマセラピーに使用される精油の多くが、特定の【植物】から抽出して製造されます。しかしながら、猫は完全肉食動物で、体内に精油などの植物由来の中毒性物質を分解する機能、グルクロン酸抱合能がないことが分かっています。よって人間には安全な量でも、猫にはアロマセラピーが危険とされています。

猫ちゃんによっては猫草、キャベツやレタスが好きな変わった好みの猫もいますし、安全な植物であれば食べても問題ありません。しかし精油には植物の有機化合物が何倍にも濃縮されているため、少量でも中毒を起こしやすいです。そして精油の毒性の怖い所はある種の精油には蓄積性がある点です。猫の1日の代謝能力を超えた精油を摂取し続けると体に溜まり、ある日突然症状が出ることもあります。

「現時点では、すべてのアロマオイルに毒性がある。」という断定はできていませんが、少なくとも犬猫に安全性が確認されているものを使用された方が安心です。

無理に証明されていないものを使って犬や猫に中毒を起こさないように気をつけて下さい。

不明点は飼い主さんだけで判断せず必ず獣医師に相談しましょう。



監修:猫専門病院 Tokyo Cat Specialists 院長 山本 宗伸 先生
引用:<https://nekopedia.jp/cat-aromatherapy/>